

学園タイムス

Sagaseishigakuen times

■発行日：平成 27 年 5 月 31 日
■発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
■発行者：理事長 中尾清一郎
■編集：法人広報誌編集委員

2015-05 Vol. **7**
社会福祉法人 佐賀整肢学園

佐賀県内を走る電車シリーズ

JR九州「ななつ星」

九州各地を巡り、自然・食・温泉・歴史などを楽しむことを目的とした観光寝台列車。「1人あたりの乗車価格は1泊2日で15万円～40万円（車中泊）、3泊4日で38万円～95万円（車中2泊・旅館1泊）。列車名の「ななつ星」は、九州の7つの県（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県）と、九州の主な7つの観光素材（自然・食・温泉・歴史文化・パワースポット・人権・列車）、そして7両編成の客車を表現したものです。佐賀県内では2015年3月から鳥栖～有田間で運行がはじまり、路線を走る「ななつ星」を目にすることができます。

- 
- 巻頭言…2
REPORTS…3・4
決算報告…5
事業所 TOPICS…6・7
新採職員紹介…8・9
タイムス特集…10
学園 FOCUS…11
局長随想…12
ツレエコラム…12
ボランティア・施設見学・実習状況…12
みどころ…12



日本社会のこれから —中国、韓国とどう向き合うか

社会福祉法人 佐賀整肢学園

理事長 中尾 清一郎

社会は安定志向

未来予測が仕事ではないが、2020年の東京オリンピックまで日本社会は「とりあえずオリンピックを成功させよう」という同調圧力が社会全体を覆い、劇的な変化を求めないだろう。政治も安倍政権は長期安定化していくと思われない。もちろん、安倍政権が盤石なのではなく、野党はじめ与党内の抵抗勢力が弱体なだけで、安倍総理自身の健康問題や、中国・韓国との関係のさらなる悪化は予断を許さない。

中国、韓国の「反日」攻勢

現代の日本人は世界史や近代史をきちんと学んでいない反面、中国・韓国では近代史こそが歴史教育の最大のポイントであるところに問題の噛み合わなさがある。近代史を理解するうえで、まず、幕末維新に日本が覚醒していなければ今日に至るまで世界は欧米・白人優越主義がまかり通り、アジアやアフリカは前近代的な植民地状態が続いたことが確実である。言い換えると日本の近代化の成功が世界を変貌させたことに私たちはもっと誇りを持ってよい。少なくとも中国・韓国（朝鮮）はその封建的支配が永く強固であるがゆえに、自己変革できなかつたのである。日露戦争ではロシアの南下を抑える必然性が日本にはあったし、日露戦争でロシアが勝利すれば朝鮮半島はロシアの植民地になっていただけのことで「歴史にif（もしも）はない」という原則は東アジアの近代史にはあまり当てはまらない。

問題なのはそこから、朝鮮半島領有を確実なものとするための満州進出、それを脅かす中国国民党（蒋介石）政権および中国利権を有する欧米との対立がエスカレートしていったことである。満州事変以降の日本の行動を「侵略」ではないと言うのは正しい歴史認識ではない。当時の欧米列強はみな「侵略国家、帝国主義」なのであり、蒋介石には中国全土を治められる能力や理念がなかったにせよ、それで日本の行動が正当化できるわけではない。一方、蒋介石を追い出した中国共産党は今日に至るまで一党独裁を継続しており、巨大な消費人口と不思議な経済体制によって世界第2位の経済大国となった。韓国は日本がポツダム宣言を受け入れて独立できたのに、朝鮮戦争で分断国家となってしまった。ここに現代中国や韓国の「負目目」がある。日本に勝利したのは中国共産党ではなく、また、朝鮮は自力で独立を勝ち得たわけではないからだ。それぞれの現体制の「正当性」は実はもろい論理の上に成り立ってお

り、その矛盾をそらすのに日本の「歴史認識」を持ち出すのが手っ取り早い。

日本のもどかしさ

日本は太平洋戦争の敗け方があまりにみじめであったため、戦前の日本を全て罪悪視することで敗戦のトラウマを脱しようとした。そもそも「敗戦」を「終戦」、「占領軍」を「進駐軍」などと言い換えることにじまじさを感じる。一方、同じ敗戦国のドイツはヒトラーとナチスが諸悪の根源、と言えばよく、日本と事情が異なる。しかも東西冷戦によって分断国家となり、ソ連の圧力の防波堤である必要もあったから、再軍備も早く、憲法に相当する「基本法」の改正は数十回に及ぶ。日本でも憲法改正論が現実味を帯びてきているが、これは何も社会が急激に右傾化しているからではない。そもそも、自由民主党という政党は立党の理念が「自主憲法の制定」にあるのだから驚くにはあたらない。問題は「憲法9条」を持ちながらそれを拡大解釈し続けている点にある。中国や韓国の尖閣諸島や竹島問題への対応は日本国民として腹立たしいが、尖閣を急に国有化したり、日本側にも相手を無用に刺激する手順の拙さは否定できない。

中韓相手に日本の取るべき態度

日本社会で「国際世論」といえばアメリカか中韓の反応を指すことが多い。しかしヨーロッパには独自の日本観があり、途上国やアジアの国々には濃淡の差こそあれ、親日的気分は濃厚である。アメリカの日本への態度の変化はあくまでアメリカの国益が中心なのであり、安倍総理への歓迎やアメリカ議会演説の成功を手放しには喜べない。一方、中国は何としても体制維持が最優先であり、「反日」カードはいつでも用意しておかねばならない。韓国には同情を禁じ得ない。分断国家にもいつかは統一の日が来る。それは北朝鮮の体制崩壊であり、金正恩が死に花を咲かす戦争を起こすかも知れず、そうでなくとも70年遅れた北朝鮮のインフラを再建し、洗脳された、しかし同じ言葉話を話す同胞との融和は気の遠くなるコストと時間を要するだろう。日本は明治維新から150年を迎えようとしている。中国や韓国は近代国家の体制を整えて、たかだか50年足らずである。「上から目線」と言われようが、日本社会はある程度成熟し、中韓は人間に例えるといわば「思春期」にあたることではできないか。ヘイトスピーチや反中・嫌韓では何事も解決しない。ここは両国の「お家の事情」を思いやる度量が私たちに求められている。

理	事	会	・
評	議	員	会

平成27年度第1回理事会・評議員会（法人本部）

平成27年5月27日に平成27年度の第1回理事会・評議員会が開催されました。

報告事項では平成26年度における個人情報の開示等の実施状況などの実績定例報告、福岡県糸島市へのサテライト事業所計画の進捗状況などについて報告が行われました。

評議員会では、平成26年度の事業報告及び決算認定など4つの議案が審議され同意されました。

理事会では佐賀整肢学園定款の変更、佐賀整肢学園こども発達医療センター隣接地取得、佐賀整肢学園多目的研修施設の取得、糸島こども発達医療福祉センター（仮称）用地取得、熊川温泉保養所建設に係る不動産取得についてなど24の議案が審議され承認されました。

●フンポイント用語解説（理事会・評議員会）

日常業務では聞き慣れない用語かもしれませんが、理事会とは事業計画、予算・決算など社会福祉法人佐賀整肢学園を運営していくための計画や、資金のことを合議にて意志決定を行う意志決定機関です。

評議員会とは、事業計画や予算、決算に関して意見を附



することができる諮問機関の役割があります。

ちなみに今回は平成27年度第1回目の理事会・評議員会でしたので、「昨年度佐賀整肢学園全体がどのような事業を行って、決算はどのような状況だったのか」などが報告されています。また「平成27年度はこんな事業計画でやっていきますよ」という事業計画の審議は今年の3月25日に理事会・評議員会が開催されており、そこで議決されています。（法人事務局 佐藤 崇）

避	難
訓	練

原子力防災訓練

平成27年5月31日（日）、玄海原子力発電所の緊急時に備え、原子力防災訓練を行いました。この訓練は、からつ医療福祉センター入所者の避難をより円滑に実施するため、関係機関による避難手段の確保、受入施設の対応等の訓練を目的としています。

原子力防災訓練は、平成27年1月に行われた佐賀県原子力防災訓練に次いで今回が2回目。前回の訓練は、避難元のからつ医療福祉センターと、避難先のこども発達医療センターの2施設が参加し、からつ医療福祉センター久里双水園の利用者様6名を、からつ医療福祉センターの車両1台と、こども発達医療センターからの応援車両1台の計2台に分乗し、こども発達医療センターに避難するというものでした。

今回の訓練では、平成26年度佐賀県障害者福祉施設災害時避難用車両整備事業費補助金及び高齢者福祉施設災害時避難用車両整備事業費補助金にて整備した、災害時避難用（応援）車両計12台を使用し、法人内の全ての施設が参加



避難先のこども発達医療センター

しました。避難する利用者様も前回の久里双水園に加え、アルトンの利用者様を含めた11名が参加。前回より大規模な訓練となりましたが、大きな事故もなく無事に避難先であるこども発達医療センターに到着致しました。

参加された利用者様も緊張した面持ちで、緊迫感のある訓練となりました。（からつ医療福祉センター 富永 創）



国際交流

釜山 サジク総合社会福祉館視察団来訪

佐賀整肢学園と交流協定を結んでいる、釜山 サジク総合社会福祉館のファン館長はじめ12名の職員の皆様、2月13日からつ医療福祉センターに来訪されました。

歓迎昼食会を唐津市内で開催し、食事をとりながら韓国の福祉制度や福祉施設の現状などといった情報交換だけではなく、韓国と日本の観光スポット、芸能人の話など両国の様々な話題で盛り上がりました。午後からは、からつ医療福祉センターの施設見学をしていただきました。

センター内では、職員手作りのハングル文字で書かれた歓迎看板を掲げ、利用者の皆さんも韓国と日本の旗を振って、歓迎ムードを盛り上げてくれました。生活介護部門の利用者さんが、生産活動で制作したヘアゴムなどの手芸小物を女性中心のサジク職員さんに贈呈を行い、大変感動されました。センター内の設備などにも興味をもって見学されていました。サジク総合社会福祉館は通所施設を中心に運営されており、入所部門などはあまり目につくことがないと、特殊浴槽などの入浴機器や、福祉と医療が合体している点に関して感動の声が多く聞かれました。

サジクの皆様が帰国後ファン館長さんから、お礼のメールを頂きました。日本語で書かれたこのメールには、原センター長へのお礼の言葉にはじまり、次の様なお礼の言葉が綴られていました。「佐賀整肢学園訪問は2回目でしたが、訪問のたびに本当にわくわくし、帰ってきてからは、この場所にこられなかった他の福祉館の職員を、今後必ず訪問させてあげなければという気持ちになります。良い天気にいいたちと良いところを見ることができ、本当にありがたく思っています。たとえよく通じる言葉で直接コミュニケーションがとれなくても、その気持ちが伝わり、共に過ごした時間が本当に楽しい時間でした。お忙しい時間にも関わらず私たちの為に時間を費やしてくださり、美味しいお食事や丁寧に準備してくださったおやつまで、本当に感謝であり、今後も交流を続けていきたいと思っております。」

平成26年度は佐賀整肢学園から7名の職員がサジク総合社会福祉館を訪問し、12名のサジク職員が佐賀整肢学園を訪問されました。交流を今後も未永く続けていければと考えています。 (法人事務局 佐藤 崇)

海外研修

民間社会福祉施設等職員 海外研修・調査（北米班）の報告

からつ医療福祉センター 総務課課長 笠野 健二

この度、公益財団法人社会福祉振興・試験センターが主催する海外研修・調査派遣団北米班に参加する機会をいただきました。参加者は障害福祉施設に勤務する中堅職員13名と団長・本部員含む15名で、15日間にわたりアメリカのニューヨーク市およびシアトル市を訪れて、障害者関係の行政機関および福祉施設・権利団体等を訪問し、両都市の障害福祉政策、障害福祉サービス等について、調査・研修を行いました。

もともとアメリカは、原則として個人の生活に干渉しないという「自己責任」の精神が、社会保障制度のあり方に大きな影響を及ぼしているようです。自己責任の考え方は、人がその生活に障害を負うようになったとき、安易に他者へ依存することを良しとせず、それは怠惰・怠慢であるとし、他者へ依存する者は社会的落伍者とみなされます。(日本の「互助」とは反対の考え方です。)その反面、アメリカは歴史的に個人を尊重し、人権主義を守ろうと務めています。自己責任と人権という2つの矛盾した思想の中で妥協しながら、アメリカという国は、社会の責任を果たしているようです。そのため国民一人ひとりに、大きな声で自

己主張する事が常に求められていて、障害児者施設においては、スタッフの方が皆にこやかで、我々に自然に話しかけよう・打ち解けようとして残る反面、弱い立場になりがちな障害児者をいかにして皆で・周りで高めていくか、その思いや気概が説明の端々からとても感じられたのが印象的でした。

今後の日本の施策に大きな影響力のあるアメリカ現地の、そういった空気を感じることができた良い機会でした。今後、障害児者を支える者の一人として、これらの見識を生かしていきたいと思います。

最後に、15日間お世話になった団員の皆様、ご迷惑もお掛けしましたが、有意義な時間を過ごすことが出来、大変感謝致します。また、今回研修参加の機会を与えてくださった、上司の方々、施設職員の皆様、本当にありがとうございました。



筆者は前列左から2番目

資金収支計算書

一般会計：35経理区分 特別会計：5経理区分 就労特別：2経理区分
平成26年4月1日～平成27年3月31日 単位：千円

収支の部	勘定科目	平成26年度		
		予算	決算	差異
財政活動による収支	収入			
	就労支費事業収入	4,785	4,481	304
	会計単位間繰入金収入	0	0	0
	経理区分間繰入金収入	0	0	0
	就労支費事業収入計①	4,785	4,481	304
	支出			
	就労支費事業支出	4,785	4,399	386
	経理区分間繰入金支出	0	0	0
	就労支費事業支出計②	4,785	4,399	386
	就労支費事業収支差額③	0	82	5
経理活動による収支	収入			
	介護保険収入	470,042	467,544	2,498
	自立支援費等収入	1,630,929	1,640,091	△13,162
	利用料収入	116,486	117,358	△872
	損害費収入	461,910	461,612	298
	私的契約利用収入	11,772	12,209	△437
	賃借費収入	27,128	25,872	△1,256
	委託事業費収入	14,162	12,366	1,796
	補助事業等収入	27,911	28,673	△762
	経常経費補助金収入	4,992	4,875	△117
新附金収入	3,879	4,389	△510	
繰入金収入	8,287	9,974	△1,687	
借入金利息補助金収入				
受取利息配当金収入	23,895	29,118	△5,223	
会計単位間繰入金収入	9,730	7,430	2,300	
経理区分間繰入金収入	238,730	229,787	8,943	
経費収入計④	5,594,610	5,617,277	△22,667	
人件費支出	3,317,940	3,268,459	49,481	
事務費支出	630,072	549,107	80,915	
事業費支出	659,266	614,714	44,552	
借入金利息支出				
会計単位間繰入金支出	9,730	7,430	2,300	
経理区分間繰入金支出	238,730	229,787	8,943	
経費支出計⑤	4,855,688	4,669,679	1,866,191	
経常収支差額⑥	738,922	947,700	△208,858	
施設整備等補助金収入	456,505	456,428	77	
施設整備等寄付金収入	0	0	0	
固定資産売却収入	200	200	0	
施設整備等収入計⑦	456,705	456,628	77	
固定資産取得支出	1,315,196	1,272,805	42,391	
人件費支出	0	0	0	
施設整備等支出計⑧	1,315,196	1,272,805	42,391	
施設整備等資金収支差額⑨	△858,491	△816,177	△42,314	
借入金収入	0	0	0	
債権回収取崩収入	1,232,284	1,222,284	10,000	
その他の収入	2,803	2,802	1	
収入計⑩	1,235,087	1,225,086	10,001	
借入金元金償還金支出	4,730	4,730	0	
債権回収取崩支出	1,147,400	1,147,300	100	
その他の支出	6,410	6,330	80	
施設支出計⑪	1,156,200	1,156,200	180	
施設活動資金収支差額⑫	78,887	69,066	9,821	
前期繰上	7,009	0	7,009	
当期資金収支差額合計⑬	△47,691	200,751	△248,442	
前期末支払資金残高⑭	1,438,725	1,438,724	—	
当期末支払資金残高⑮	1,391,034	1,639,475	—	

貸借対照表

一般会計：35経理区分 特別会計：5経理区分 就労特別：2経理区分 (平成27年3月31日現在) 単位：千円

資産の部	平成26年度末			増減
	26年度末	25年度末	増減	
流動資産	2,204,820	1,666,893	537,927	
現金・預金	623,828	747,404	△123,576	
有価証券	307,909	120,864	186,045	
未収金	1,253,226	778,774	474,452	
立替金	1,557	715	842	
前払金・仮払金	18,880	19,116	△236	
その他の流動資産	20	20	0	
固定資産	12,891,744	12,075,680	816,194	
基本財産	6,954,011	7,244,924	△290,913	
建物	5,811,768	6,102,681	△290,913	
土地	1,142,243	1,142,243	0	
その他の固定資産	5,937,863	4,838,756	1,107,107	
建物	11,179,782	122,970	991,812	
構築物	177,920	162,261	15,659	
自動車・乗用車	75,542	18,194	57,348	
器具及び備品	192,554	154,755	37,499	
土地	376,677	305,833	70,844	
建設仮当分	2,575	473	2,102	
積立金	3,651	3,402	249	
長期貸付金	34,097	30,570	3,527	
その他の固定資産	47,832	47,832	3,051	
積立金の合計	3,947,533	4,022,517	△74,984	
運営資金積立金	460,000	638,700	△178,700	
土地購入積立金	871,500	554,000	317,500	
建設準備積立金	506,100	991,000	△484,900	
人件費積立金	5,000	5,000	0	
積立金	333,000	301,000	32,000	
商品等積立金	110,000	127,200	△17,200	
毎年度積立金	1,544,400	1,258,000	286,400	
リスク対策積立金	36,000	36,000	0	
移行時特別積立金	16,250	46,250	△30,000	
地下開削記念基金	50,000	50,000	0	
返還積立金	11,969	11,969	0	
その他の積立金	3,314	3,398	△84	
資産の部合計	15,096,694	13,742,573	1,354,121	
負債及び剰余計額	4,569,872	4,200,877	368,995	

事業活動収支計算書

一般会計：35経理区分 特別会計：5経理区分 就労特別：2経理区分
平成26年4月1日～平成27年3月31日 単位：千円

収支の部	勘定科目	平成26年度		
		26年度決算	25年度決算	増減
財政活動による収支	収入			
	就労支費事業収入	4,481	3,944	537
	経理区分間繰入金収入	0	0	0
	就労支費事業収入計①	4,481	3,944	537
	支出			
	就労支費事業支出	4,399	3,867	532
	減価償却費	0	0	0
	経理区分間繰入金支出	0	0	0
	就労支費事業支出計②	4,399	3,867	532
	就労支費事業収支差額③	82	77	5
経理活動による収支	収入			
	介護保険収入	467,544	431,801	35,743
	自立支援費等収入	1,644,091	1,574,105	69,986
	利用料収入	117,358	97,337	20,021
	損害費収入	461,612	449,317	12,295
	私的契約利用収入	12,209	11,055	1,154
	賃借費収入	25,872	24,697,714	11,971
	委託事業費収入	12,836	15,816	△2,980
	補助事業等収入	28,673	36,300	△7,627
	経常経費補助金収入	4,875	7,035	△2,160
新附金収入	4,389	5,140	△751	
繰入金収入	9,974	9,283	691	
引当金繰入収入	0	5,381	△5,381	
経理区分間繰入金収入	135,162	130,449	4,713	
事業活動収入計④	5,486,104	5,242,393	243,711	
人件費支出	3,268,459	3,182,601	85,858	
事務費支出	549,107	484,601	64,506	
事業費支出	614,714	582,258	32,456	
減価償却費	381,644	366,803	14,841	
引当金繰入	733	625	108	
事業活動支出計⑤	4,814,657	4,616,888	197,769	
事業活動収支差額⑥=(4)-(5)	671,447	625,505	45,942	
借入金利息補助金収入	0	0	0	
受取利息配当金収入	29,118	26,871	2,246	
会計単位間繰入金収入	7,430	197,980	△189,650	
経理区分間繰入金収入	230,081	307,136	△77,055	
事業活動外収入計⑦	266,628	531,087	△264,459	
借入金利息支出	0	0	0	
会計単位間繰入金支出	7,430	197,980	△189,650	
経理区分間繰入金支出	230,081	307,136	△77,055	
事業活動外支出計⑧	237,511	504,216	△266,705	
事業活動収支差額⑨=(6)-(8)	29,127	26,289	2,838	
経常収支差額⑩=(3)+(6)+(9)	700,646	652,543	48,193	
施設整備等補助金収入	456,428	456,036	392,372	
固定資産売却収入	200	200	0	
債権回収取崩収入	2,802	2,802	0	
収入計⑪	459,430	459,038	392,372	
借入金元金償還金支出	4,730	4,730	0	
債権回収取崩支出	1,147,400	1,147,300	100	
その他の支出	6,410	6,330	80	
施設支出計⑫	1,156,200	1,156,200	180	
施設活動収支差額⑬=(11)-(12)	△697,544	641,963	55,580	
前期繰上	6,632,076	6,268,154	363,922	
当期繰上	7,329,619	6,901,117	419,500	
基本金取崩額⑭	0	0	0	
基本金取崩額⑮	0	0	0	
その他の積立金取崩額⑯	1,222,200	309,800	912,400	
その他の積立金取崩額⑰	1,147,300	587,840	559,460	
当期繰上	7,404,519	6,632,077	772,443	

負債の部	平成26年度末			増減
	26年度末	25年度末	増減	
流動負債	565,345	228,173	337,172	
未払金	536,365	206,490	329,875	
預り金	21,059	20,155	909	
前受金・仮受金	7,921	1,533	6,388	
その他の流動負債	0	0	0	
固定負債	60,937	62,594	△1,657	
負債合計	47,610	50,000	△2,390	
退職給付引当金	13,327	12,594	733	
負債の部合計	626,827	290,767	335,515	
基本金	29,491	29,491	0	
基本金	29,491	29,491	0	
国庫補助金等特別積立金	3,104,151	2,783,089	321,062	
その他の積立金	3,992,550	4,007,150	△74,500	
運営資金積立金	460,000	638,700	△178,700	
土地購入積立金	871,500	554,000	317,500	
建設準備積立金	506,100	991,000	△484,900	
人件費積立金	5,000	5,000	0	
修繕積立金	333,000	301,000	32,000	
商品等積立金	110,000	127,200	△17,200	
毎年度積立金	1,544,400	1,258,000	286,400	
リスク対策積立金	36,000	36,000	0	
移行時特別積立金	16,250	46,250	△30,000	
地下開削記念基金	50,000	50,000	0	
その他の積立金	0	0	0	
次期繰上	7,404,519	6,632,077	772,443	
前期繰上	7,404,519	6,632,076	772,443	
当期繰上	697,543	641,963	55,580	
施設資産の部合計	14,070,411	13,451,806	1,018,605	
負債及び剰余金の部合計	15,096,693	13,742,573	1,354,120	

決算報告

平成27年5月3日、世間がゴールデンウィークに賑わう中、鳥栖のベストアメニティスタジアムにて九州レジェンズとの試合の為に来日した、ユベントスレジェンズのトレゼゲ選手をはじめ全員が、なんとこどもセンターを訪問してくれました。セレモニーでは、サインボールやユニフォームをいただいたりと大盛り上がり。質問の時間や、リフティングの披露もありました。また、本当に笑顔で、気さくにサインや記念写真に応じていただいたことが印象的でした。幅広い世代のOB選手ということで、こども達よりも保護者の皆さんが楽しんでいるようでした。

このようなスター選手の皆さんに訪問していただく機会をいただき、まことにありがとうございました。とても素敵な休日となりました。
(こども発達医療センター 竹下敬二)



花見

オックス



3月26日に、福祉ホームきらり入居者の皆さんと共に花見を行いました。

福祉ホームは、オックスの南側にあり、現在6名の方が入居されています。福祉のサービスを利用しながら、入居者の皆さんで共に助け合いながら生活を送られています。

花見は平成26年から、入居者の皆さんや担当職員との交流を深める目的で始めました。どこで花見をするか、お弁当はどこに注文するか、飲み物の準備は？等、入居者の皆さんが中心となり、計画を立てて実施しています。計画の中心を入居者の皆さんが担っているため、企画段階から活発な意見が飛び出していました。2回目となる今年は、金立いこいの広場にて行うこととなりました。

当日は少し風が冷たく感じましたが、天気恵まれ花見日和でした。綺麗に咲いた桜の木に鳥が止まり、空を見ると青い空に三日月。『すごい、花鳥風月が全部あるね』と、入居者の1人の方が喜んでおられました。

しかし、一番のお楽しみはやっぱりお食事。綺麗な桜に外での食事、好条件が重なり皆さんの食欲もいつにも増して着進んでいた様子でした。またお酒を好まれる方は、風に舞う桜の花びらを見て、頬を赤らめながら花見を楽しまれています。花見の楽しみ方も入居者の皆さん、それぞれだったようです。

花見終了後は、『今年も花見ができて良かった』『明日からまた就労頑張ろう！』『来年もしようね』との声があり、皆さん大変喜ばれていました。
(オックス 中原健太)

水害避難訓練

かんざき清流苑

清流苑の側を流れる城原川の氾濫を想定して、指定避難場所である「日の隈寮」への避難誘導訓練を3月24日に行いました。この訓練は、4年程前に城原川の水位が危険区域まで達し、利用者全員に神崎市中央公民館へ2年連続で避難いただいたため実施するものです。その後、日の隈寮が指定避難場所に指定されたので、迅速で安全な避難誘導を行う事を目標として、訓練に取り組むようになりました。今回の訓練内容は重度の利用者(酸素使用者、経管栄養者、体調不良者)数名をこどもセンターへの搬送と、それ以外の利用者50名を日の隈寮へ車両で搬送する訓練でした。今回の訓練が3回目であり、車両での訓練は初めてで戸惑いもありましたが、1時間程で全員を避難を完了する事ができました。いろいろな改善点や問題点もみつき、次回の訓練ではそれらの課題をクリアしたいと思います。

私たち職員は、利用者の命を守るため、防災活動に真摯に取り組んでいきたいと思っています。
(かんざき清流苑 坂井善治)



事業所 TOPICS

花見焼肉会

からつ医療福祉センター

からつ医療福祉センターでは、桜の花が咲き始める時期になると、毎年中央広場に鉄板とテーブルを設置し、花見会を兼ねた焼肉会を開催しています。利用者さんの花見焼肉会の後は、職員を対象とした会を夕方開催しており、夕日に照らされる春の暖かい桜を鑑賞する、勤務後の楽しい行事として定着しています。今年は、桜の花が咲き始めた3月23日に開催されました。食材の買い出し、鉄板やテーブル設置など、準備に動いていただいた職員の方々に感謝しながら、夕食代わりに焼きそばや焼肉を堪能しました。今年は桜が満開になると花散らしの雨が降ってしまい、桜を長く楽しめませんでした。桜の咲きはじめて開催したこの花見会のおかげで、年度末の慌ただしい雰囲気の中の、つかの間の和みのひとときを過ごすことができました。からつ医療福祉センターの敷地内には、桜の木以外にも、様々な木々が毎年花を咲かせます。これらの花が咲き終わると、新緑の木々が周辺の田園風景と相まって、とても穏やかな初夏の雰囲気を醸し出します。この時期には花見焼肉会に続いて、職員そうめん流し会が開催されます。ぜひ法人内職員の皆様もお立ち寄り下さい。（からつ医療福祉センター 佐藤 崇）



居宅生活訓練事業

かんざき日の隈寮



かんざき日の隈寮では、平成26年4月より居宅生活訓練事業（定員2名）を開始しました。この事業は、施設において居宅生活に向けた生活訓練を行うとともに、より居宅生活に近いアパート等の環境で体験的に生活訓練を行うことで、居宅生活への移行を支援するというものです。国により制度化された事業で、全国の介護施設に広まりつつあります。

この事業を日の隈寮における在宅移行の最終段階として位置づけ、アパートの確保・環境整備、対象者の選定、各種ルールづくり等、話し合いを重ね、準備にあたりました。大きな特徴として、アパートでの生活と一般就労をバランスよく織り交ぜたプログラムとなっています。また、訓練終了後の居宅生活を強くイメージした支援内容です。そして、担当職員のみならず、多くの職員がアパートを訪問し、何らかの形で利用者に関わっています。

2名の対象者は神埼市内のアパートと施設を自転車で行き来し、1年間の訓練を順調に終えました。現在は、それぞれ希望する居宅生活に移行されています。退所者のフォローアップとして、時々職員が居宅を訪問し様子を伺っていますが、就労も継続されており、満足度は高いようです。

居宅生活への移行は、利用者それぞれに様々な障壁があり、1年間で一つずつクリアしなければなりません。支援内容も多岐に渡っています。これからも職員で知恵を出し合いながら、取り組んでいきたいと思ひます。

（かんざき日の隈寮 大島 毅）

あくなき挑戦！

佐賀向陽園・わいわい

平成26年度（第27回）介護福祉士の国家試験に5名の職員が挑戦し、見事全員合格しました。

驚きなのは合格者のうち3名が60歳以上（66歳、65歳、62歳）であり、全国の60歳以上の合格率は3%（全体の合格率61%）、佐賀県内の合格者は全年代で665人であることから推計すると、県内の60歳以上の合格者は約20名と考えられ、そのうち3名が当事業所の職員であることから素晴らしい成果だったと思ひられます。

合格した3名の中には60歳を過ぎてから、初めて介護職に就いた職員もいますが、今では職員の中心的存在になっており、当事業所が定年退職者等の再活躍の場として一翼を担うことができているのではないかと思います。

合格した3名は、次に介護支援専門員の資格取得を目指しており、若い世代にとっても刺激となっているため、今後も職員個々で有意義な資格取得や資質向上を目指すと共に、職員の処遇改善のために事業所として様々な応援体制の充実を図っていきたく思ひます。

（わいわい 早川清十郎）



今春は47名の新規採用職員を迎え、4月1日に中尾理事長より辞令が交付されました。また、新規採用職員を代表して、こども発達医療センターの百島さんが暫いの言葉を述べました。新たな仲間を加え、法人全体で、職員は842名になりました。(4月1日現在)



平成27年度新規採用職員辞令交付式の様子(平成27年4月1日)

こども
中尾 絵美
看護師
小児科

こども
西村 百恵
看護師
第1療育課

こども
北島 里華
看護師
第1療育課

こども
金子真由美
看護師
第2療育課

こども
山田 美保
看護師
第2療育課

こども
濱口 美樹
看護師
第2療育課

こども
中橋 詩織
看護師
第3療育課

こども
田中 美保
看護師
第3療育課

こども
富永 千春
看護師
第3療育課

こども
亀崎 愛奈
看護師
西棟療育課

こども
百島 亜希
生活支援員
第1療育課

こども
宮崎翔太郎
生活支援員
第2療育課

こども
吉末 卓也
生活支援員
第2療育課

こども
中島 千尋
作業療法士
リハビリテーション科

こども
豊岡 祐衣
作業療法士
リハビリテーション科

こども
出宮安優美
言語聴覚士
リハビリテーション科

こども
小畑 董
言語聴覚士
リハビリテーション科

こども
出口久美子
臨床心理士
リハビリテーション科

こども
米満 裕美
管理栄養士
医療課

こども
坂本 優奈
管理栄養士
医療課

こども
笠原 聡乃
管理栄養士
医療課

オークス
森 泰樹
生活支援員
入所サービス課

オークス
梶山 裕子
看護師
入所サービス課

オークス
江口 元子
介護支援専門員
在宅サービス課

清流苑
高取 克弘
生活支援員
入所課

清流苑
川崎 隆亮
生活支援員
在宅課

清流苑
横尾 圭子
生活支援員
在宅課

清流苑
徳久 明美
生活支援員
在宅課

新採職員紹介



からつ

坂本美沙樹

生活支援員
久里双水園入所サービス課



からつ

稲吉 貴子

生活支援員
久里双水園入所サービス課



からつ

宮崎 嘉文

生活支援員
久里双水園入所サービス課



からつ

中山 純子

保育士
むつろく児童発達支援課



からつ

中島 陽子

言語聴覚士
アルトソリビテーション課



からつ

砂山 千穂

看護師
アルトン医療課



日の隈寮

井上 皓貴

生活支援員
入所サービス課



日の隈寮

小林 恭子

生活支援員
入所サービス課



向陽園

森 悠平

生活支援員
入所サービス課



向陽園

鶴崎 紋加

生活支援員
入所サービス課



からつ

井本 理恵

生活支援員
久里双水園入所サービス課



からつ

森 英吏

生活支援員
アルトン看護生活課



からつ

高野 義巳

生活指導員
アルトン看護生活課



からつ

村上 亮子

生活支援員
久里双水園入所サービス課



からつ

楠田 早苗

生活支援員
アルトン看護生活課



からつ

佐藤 公明

理学療法士
アルトソリビテーション課



からつ

稲井 隆文

生活支援員
アルトン看護生活課



からつ

鏡田三根子

生活支援員
アルトン看護生活課



からつ

橋口 美希

言語聴覚士
アルトソリビテーション課

こども発達医療センター

生活支援員 百島 亜希

辞令交付式から早くも一か月が経ちました。これまでを振り返ると、初めに経験することだらけで緊張してばかりだったように思います。現在、生活支援員として働きながら、多くの先輩方や利用者の皆様と関わらせていただいています。まだまだ目の前のことで精一杯で、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、利用者様の心地よい生活をお手伝いできるよう日々努力していきたいと思っています。今後ともご指導宜しくお願い致します。

オークス

生活支援員 森 泰樹

私は平成24年9月に入社し、3年目に正規職員として採用していただきました。新規採用試験、辞令交付式と緊張の連続でしたが、佐賀整肢学園の一員として働くことが出来るのだと実感したと共に、今まで以上に責任感を持たなければならぬと思いました。また、オークス入所サービス課に配属され、まだまだ、利用者様や先輩方に迷惑をかける日々ですが一日も早く仕事に慣れるよう、一生懸命頑張りたいと思います。

かんざき清流苑

生活支援員 横尾 圭子

正規職員になって日々の業務に、より一層向き合い今まで以上に違うサービスの提供を行わなければならないと感じています。それは、利用者様が「今何を求めているのか?」を察知してのこもったサービスを提供する事です。そして利用者様から「かんざき清流苑のデイサービスに行きたい。」とっていただける様に努めていきたいと思っています。また、利用者様が笑顔になれるように、私も笑顔で接し、時にはおどけたりと明るくデイサービスにしたいと思っています。自己研鑽の気持ちで忘れず一生懸命、全力で頑張っています。ご指導よろしくお願致します。

からつ医療福祉センター

言語聴覚士 中島 陽子

佐賀整肢学園で働き始め、1か月が経ちました。研修に辞令交付式と緊張の連続でしたが、社会人としての責任感が芽生えた貴重な日々でした。新しい環境に期待と不安が入り混じった気持ちではありますが、先輩方や病棟スタッフの皆様、利用者様などたくさんの方々に支えて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも慣れない業務に戸惑うこともあると思いますが、初心を忘れず、利用者様の笑顔が見られるよう日々精進していきます。

かんざき日の隈寮

生活支援員 小林 恭子

こんにちは。この度、かんざき日の隈寮に採用いただきました小林と申します。様々な利用者の方と向き合い、利用者の明るくよりよい生活のためにできる支援とは何か、日々考え奮闘しています。分からないこと、困ることはたくさんありますが、何でも相談できる頼れる上司・先輩の方々に囲まれて、勉強しています。少しずつですが利用者の方に頼られることが増え、嬉しい気持ちです。まだまだ至らないことが多く、失敗ばかりですが、利用者の気持ちに寄り添った支援を目指して一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

佐賀向陽園

生活支援員 鶴崎 紋加

佐賀向陽園に勤務して二ヶ月が経ち、右も左も分からない状態の私にとってはとても短いもので、介護の専門知識がまだ未熟である事を常に痛感しています。利用者の状態が日によって違うように、介護方法もその日によって変化していくため、上司や先輩方に助言を頂きながら進んでいます。今の利用者にとって最善の介護を日々模索しながら業務は難しい反面楽しくもあり、利用者と過ごす日々は未熟な私を育ててくれる大事な時間です。これからも利用者様がより良く過ごせるような支援が出来るように頑張っています。

タイムス特集

4 事業所建物竣工

平成26年度に4事業所でそれぞれ行われていた建築工事が、3月末に完工しました。それぞれの建物を紹介していきます。



こども発達医療センター 厨房棟改築工事

延床面積：807.25㎡

建物用途：厨房、休憩室（避難スペース）

総工事費：約2億8千万円（税込）

うち平成26年度障害福祉関係
施設整備費補助金 98,400千円

建物概要：1階は厨房、2階は休憩室（災害時の避難スペース）等。厨房機器を一新し整備を行った。

オークス 在宅サポートセンター新築工事

延床面積：1,086.42㎡

建物用途：デイサービスセンター

総工事費：約2億2千万円（税込）

うち平成26年度障害福祉関係施設整備費補助金115,732千円 佐賀市障がい児通所施設開設等支援事業費補助金2,000千円

建物概要：デイサービス（障害・高齢）、就労支援、放課後等デイ、相談支援事業を一体的に行う。



からつ医療福祉センター在宅サポートセンター増築工事

延床面積：1,879.64㎡

建物用途：児童発達支援センター他

総工事費：約5億2千万円（税込）

うち平成26年度障害福祉関係
施設整備費補助金 170,760千円

建物概要：児童向け福祉事業の整備充実と地域住民も利用可能な避難スペースの整備の為増築を行った。

グループデイわいわい（地域密着型通所介護事業）工事

延床面積：140.79㎡

建物用途：認知症対応型通所介護（デイルーム、浴室等）

総工事費：約3.51千万円（税込）

うち佐賀中部広域連合介護基盤緊急整備等
臨時特別交付金 10,900千円

建物概要：基本設備はもとより、機能訓練強化の目的で
外庭周囲に手すりを設置。



学園 FOCUS

今号から始まりました「学園 FOCUS」では、佐賀整肢学園で活躍する様々な人にフォーカスし、いろいろとお話を聞いていきます。

記念すべき第1回目は、2015年2月に行われた「県内一周駅伝」、「東京マラソン」、4月に行われた「さが桜マラソン」に出場し、好成績を収めた今井康太さん。走り始めたきっかけから将来の展望まで、ざっくばらんに語っていただきました。



いまい やすもと
今井 康太さん

こども発達医療センター
総務課 施設管理係

Q いつ頃から走っていますか？走り始めたきっかけは？

A 中学生の時に陸上部に入部しました。小学校の頃は野球をしていて、それでよく走らされていました。段々、野球より走ることに自信が付き、陸上を始めました。それから、高校も陸上部に所属しました。修学旅行は、全国大会直前だったので行けませんでした。

Q 大学では農学部だったと聞いていますが、福祉の道に進もうと思われたのは何故ですか？

A 大学進学後、陸上とは違う事をしたくてトライアスロンに挑戦しました。そこで視覚障害の方と出会い、トライアスロンの伴走ボランティアを始めました。そこから、障害のある方のスポーツや暮らしに関心が芽生え、こども発達医療センターへの入社を決めました。

Q 仕事との両立、練習時間の確保はどうされていますか？また、休みの日は何をして過ごしますか？

A 昨年、練習不足を感じたので、今年に入ってから毎日走るよう心がけています。朝か業務後に、少ないときは30分、長いときは1時間から1時間半かけてトレーニングをしています。マラソンの前は、6～4日前は炭水化物を抜き、3～1日前は炭水化物のみで過ごす「カーボローディング」という食事法をしています。休みの日は、走ったりもしますが、知的障害のある子に陸上や水泳をボランティアで教えたりしています。

Q 今年になって、県内一周駅伝や東京マラソンなど多くの大会に出場されていますが、佐賀整肢学園のユニフォームを着て走った感想を聞かせてください。

A 整肢学園の名前を背負って走るのでプレッシャーは感じましたが、皆さんの期待に応えられたのではないかなと思います。沿道での応援もたくさんの方に来てもらい、声をかけてもらったことが力になりました。

Q 最後に、今後やりたいこと、次の目標は？

A 走ることに関しては、桜マラソンですね。やるからには優勝したいです。あとは、利用者の方ともっと関わりたいです。昨年、利用者と一緒に参加したティーボールも、今年は優勝したい。ティーボールはどうしても自分で動くことのできる方が中心なので、他の方も、何かスポーツとかできればいいなと思います。あ、結婚したいというのも入れとってください(笑)。



主な記録

- 2012/7/8 第20回長崎西海トライアスロン 2時間21分01秒(14位)
- 2012/10/7 第23回ジャパントライアスロン EKIDEN イン福岡 男子大学の部 優勝
- 2014/4/7 さが桜マラソン2014 2時間41分42秒(総合25位 種目別(24歳以下の部)2位)
- 2015/2/15 県内一周駅伝2015 30区(6km)区間2位
- 2015/2/22 東京マラソン2015 2時間37分12秒(総合199位)
- 2015/3/15 歌垣の郷ロードレース大会(10km) 32分33秒(2位)
- 2015/4/5 さが桜マラソン2015 2時間36分12秒(総合6位 種目別(24歳以下の部)2位)

今年の春、私宛に通の書類封筒が送られてきた。差出人を見れば高校時代からの親友で、東京在住のN君からであった。早速開封して中を見てみると、出てきたものは、サンケイスポーツ特別版の「キン肉マン新聞」平成27年3月9日号で、その中の特別インタビュー記事で、昔と変わらぬ笑顔を見せているのがN君であった。

ご存知の方も多と思うが、「キン肉マン」とは、1979年5月から週刊少年ジャンプに連載が開始された漫画で、「ゆでたまご」というペンネームの作家による大ヒット作である。テレビで放映されたり、キン肉マン消しゴムが発売されたりして、一時代を築いた作品であった。連載開始から35年を経た今も、その人気は衰えていないようである。

そして、この漫画の作者であるゆでたまご（原作担当と作画の担当の二人）を、応募してきた落選原稿の束の中から彼らが高校生のときに見出して、作家デビューさせたのが当時、集英社の編集者であったN君であった。送られてきたキン肉マン新聞にはN君へのインタビュー記事が掲載されているが、その中でN君は、二人の高校生が地元大阪で既に就職が決まっていたのを断らせて、預かってきたと述べている。二人の親御さんも共に「漫画家になるだなんて、とんでもない」と大反対だったのを説得してのことであった。ここで驚嘆するのは若い才能の可能性と将来性を見抜くN君の眼力である。彼も「地元の大阪で就職が決まっていた高校生を、その就職を断らせてあげてきたということ、私としてはある種の責任感をずっと感じていて、…」と述べており、大変なストレスであったことは想像に難くない。しかし、彼の慧眼が無かったら、35年間の長きにわたって、日本の子ども達に楽しさや面白さを与え続けてきた、キン肉マンというヒーローは誕生していなかった。

佐賀整肢学園は、今年の4月1日現在842名の職員が勤務しているが、今年度も法人全体で正規職員47名の採用を行っている。法人の将来を託す人材を雇うに当たって、及ばずながらもN君並みの慧眼を目標に、しっかりと面接試験に臨みたいものである。



佐賀整肢学園・
かんざき日の隈寮

小柳 清人

2年間の編集委員を通して、他施設の職員とも交流することができ、より一層法人内の連携を強めることができました。また私が勤務する看護施設・かんざき日の隈寮を広報誌で紹介させていただいたことで、読者の皆様にも看護施設の役割を知っていただくきっかけになったのではないかと思います。今後も編集委員で学んだことを糧に仕事に取り組みしていきたいと思えます。

私が所属する佐賀整肢学園ソフトボールクラブは、平成27年度より兵動新監督のもとチーム一丸となって練習に励んでいます。また私も新チームのキャプテンとして「気合と根性!」を合言葉に弱音を吐かない強いチーム作りに取り組みしていきたいと思えます。4月末に今シーズン最初の交流試合がありました。福岡県にある聖ヨゼフソフトボールクラブと対戦し、一進一退の攻防で白熱した試合となりました。当日はたくさんのご声援ありがとうございました。結果は引き分けでしたが、今年もより一層のご声援の程よろしくお願い致します。新入部員・マネージャー募集中です。お気軽に私までお声掛け下さい。

NEXT… 子どもの発達医療センターのあの人にパトタッチ!!

平成27年2月～4月

- ボランティア受入**
 - 【子ども】 なでしこの会様 ゲームセンター「ナムコ」様 親和会様 佐賀整肢学園友会の会様 アンサンブルヴェルデ様
 - 【清流苑】 西九州大学ボランティア2名様 音楽愛好会様 鶴乃会様 オカリナ結核来苑 藤岡流日様
 - 【からつ】 折尾幸子様（パン教室） 川打恒子様（書道教室） 加藤万里子様（民謡教室） 田村静二様（絵画教室） 無津呂正様（陶芸教室） 辰野真由美様（手芸教室） 松尾貞臣様（ギターホスピタルライブ）
 - 【日隈寮】 西九州大学軽音楽サークル2名様 山崎節子様（日舞クラブ） 三好富美子様（日舞クラブ）
 - 【向・わ】 佐賀少年刑務所（訪問理容） 金立町社協（傾聴カフェ）
- 施設見学受入**
 - 【子ども】 大阪市児童福祉施設連盟20名様 医療福祉センター聖ヨゼフ園2名様 医療福祉専門学校緑生館16名様
 - 【からつ】 釜山市サジク総合社会福祉館12名様
 - 【日隈寮】 大和町民生委員視察研修15名様
 - 【向・わ】 西与賀町社会福祉協議会様
- 実習生受入**
 - 【子ども】 西九州大学6名様 佐賀女子短期大学1名様 株式会社佐賀銀行12名様
 - 【清流苑】 九州医療専門学校1名様 西九州大学3名様 神埼清明高校2名様 佐賀女子校様
 - 【からつ】 西九州大学リハビリテーション学部3名様 西九州大学健康福祉学部社会福祉学科介護福祉コース3名様 筑紫女学大学短期大学部保育士学生1名様
 - 【日隈寮】 西九州大学介護福祉士コース様
 - 【向・わ】 西九州大学 ライフケアカレッジ佐賀校

見どころ

今号からの学園タイムスは、レイアウトを一新してより皆さんに楽しんでいただける内容としました。「学園 FOCUS」のコーナーでは、佐賀整肢学園職員の趣味や意外な一面にスポットを当てています。また、「リレーコラム」では、職員から職員へバトンを渡し、コラムを寄稿いただいています。今後とも読み物として充実した内容を提供していきたいと思っておりますので、どうぞご期待ください。